

経営状況の概要（令和2年度）

1 団体の概要

| | | | | | |
|---------|---|-------|---------------------------------------|---|--------------|
| 団体名 | 社会福祉法人郡山市社会福祉協議会 | | 設立年月日 | 昭和27年5月27日 | |
| 所在地 | 福島県郡山市朝日一丁目29番9号 | | 設立根拠 | 社会福祉法第109条 | |
| 電話番号 | 024-932-5311 | FAX番号 | 024-932-6768 | 所管部課 | 保健福祉部保健福祉総務課 |
| 主な事業内容 | (1)地域福祉推進事業 (2)福祉サービス利用援助事業 (3)共同募金事業 | | (4)保育所運営事業 (赤木・希望ヶ丘) (5)介護保険等事業 | (6)障害者総合支援事業 (7)居宅介護支援事業 (8)いきいきデイクラブ事業 | |
| webアドレス | http://koriyama-shakyo.jp/ | | | | |

2 財務状況・財務分析（単位：千円）

| | | | | | | | | |
|-----------|--------|----|----------|---|----|------|---|---|
| 資本金（基本金）等 | 70,228 | 千円 | 市出資（出捐）金 | 0 | 千円 | 出資比率 | 0 | % |
|-----------|--------|----|----------|---|----|------|---|---|

| 項目 | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 前年度比 | 増減理由 |
|-------|-------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-------------------------|
| 貸借対照表 | 総資産 | 1,603,129 | 1,440,574 | 1,435,223 | ▲ 5,351 | |
| | 流動資産 | 429,528 | 256,025 | 264,418 | 8,393 | 東京電力の損害賠償金による現金預金の増加のため |
| | 固定資産 | 1,173,601 | 1,184,549 | 1,170,805 | ▲ 13,744 | 有形リース資産等が減少したため |
| | 負債 | 413,533 | 265,234 | 246,134 | ▲ 19,100 | |
| | 流動負債 | 259,536 | 83,158 | 70,593 | ▲ 12,565 | 事務費等の未払金が減少したため |
| | 固定負債 | 153,997 | 182,076 | 175,541 | ▲ 6,535 | リース債務等が減少したため |
| 資本 | 1,189,596 | 1,175,340 | 1,189,089 | 13,749 | | |
| 累積欠損額 | 0 | | | 0 | | |
| 損益計算書 | a 経常収益 | 752,069 | 789,690 | 804,426 | 14,736 | 受託金収益の増加のため |
| | b 経常費用 | 923,884 | 907,499 | 880,656 | ▲ 26,843 | 事務費等の減少のため |
| | c 経常収支差益(a-b) | ▲ 171,815 | ▲ 117,809 | ▲ 76,230 | 41,579 | |
| | d 経常外収益 | 54,144 | 115,982 | 102,240 | ▲ 13,742 | 東京電力からの損害賠償金額減少のため |
| | e 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | f 経常外収支差益(d-e) | 54,144 | 115,982 | 102,240 | ▲ 13,742 | |
| | g 特別収益 | 138,655 | 81 | 172 | 91 | |
| | h 特別損失 | 140,696 | 1 | 1,601 | 1,600 | 国庫補助金等特別積立金積立額の増加のため |
| | i 特別収支差益(g-h) | ▲ 2,041 | 80 | ▲ 1,429 | ▲ 1,509 | |
| | j 税引前当期純利益(c+f+i) | ▲ 119,712 | ▲ 1,747 | 24,581 | 26,328 | |
| | k 法人税等 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | l 当期純利益(j-k) | ▲ 119,712 | ▲ 1,747 | 24,581 | 26,328 | |
| | m ※ 総収入(a+d+g) | 944,868 | 905,753 | 906,838 | 1,085 | |

3 役職員の状況（令和2年度）※ 職員＝正規職員のみ記載

| | | | | | | | | |
|-------------|-------|----|-----------|-----|-----|----------|---------|----|
| 役員数 | 21 | 人 | (うち市派遣) | 0 | 人 | (うち市退職者) | 1 | 人 |
| 職員数 | 41 | 人 | (うち市派遣) | 0 | 人 | (うち市退職者) | 0 | 人 |
| 常勤役員平均報酬 | 4,513 | 千円 | 非常勤役員平均報酬 | 720 | 千円 | 職員平均年収 | 4,658 | 千円 |
| 役員平均年齢 | 73 | 歳 | 職員平均年齢 | 36 | 歳 | 人件費(R2) | 684,817 | 千円 |
| 市退職者の役員就任割合 | 4.7 | % | | | ※参考 | 人件費(R1) | 690,785 | 千円 |

4 団体への市関与の状況

(1) 市の支出

| 項目 | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 前年度比 | 増減理由 |
|------------------|--|---------|---------|---------|--------|------------|
| 補助金（助成） | | 240,756 | 109,665 | 108,960 | ▲ 705 | |
| ①運営費補助 | | 98,555 | 103,340 | 102,684 | ▲ 656 | 給与と改定等による減 |
| ②事業費補助 | | 2,840 | 2,873 | 2,873 | 0 | |
| ③その他補助 | | 139,361 | 3,452 | 3,403 | ▲ 49 | |
| 利子補給金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 損失補償契約に伴う金利軽減額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 出資金、低利貸付等に伴う機会費用 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | | 240,756 | 109,665 | 108,960 | ▲ 705 | |
| 委託料（指定管理料を除く） | | 119,242 | 138,964 | 160,370 | 21,406 | |
| うち随意契約 | | 119,242 | 138,964 | 160,370 | 21,406 | |
| 指定管理料 | | 0 | | | 0 | |

市からの委託業務の詳細（指定管理業務を除く）

- ・生活困窮者自立支援事業（保健福祉部保健福祉総務課）
- ・生活困窮者就業準備支援事業（保健福祉部保健福祉総務課）
- ・第1層生活支援コーディネーター業務（保健福祉部地域包括ケア推進課）
- ・第2層生活支援コーディネーター業務（保健福祉部地域包括ケア推進課）
- ・いきいきデイクラブ事業（保健福祉部地域包括ケア推進課）
- ・相談支援事業（保健福祉部障がい福祉課）
- ・障がい者基幹相談支援センター事業（保健福祉部障がい福祉課）
- ・障害者虐待防止センター（保健福祉部障がい福祉課）
- ・郡山市産後ヘルパー派遣事業（こども部こども支援課）

(2) その他

| 項目 | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 前年度比 | 増減理由 |
|---------------|--|--------|-------|-------|------|------|
| 損失補償契約に係る債務残高 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (将来負担額) | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (将来負担算入率) | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 貸付金残高 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 出資金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 出捐金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |

5 監査等の結果

| | | |
|-------|------------|---|
| 監査等種類 | ①公認会計士 | ②監事による監査 |
| 実施時期 | 令和3年5月19日 | 令和3年5月27日 |
| 指摘・意見 | 適正に運営されている | ・原子力発電所事故による損害賠償金の請求をするように、人材確保のためにも職員の働きやすい環境作りに努めてほしい |
| 対応状況 | | ・原子力発電所事故による損害賠償金の請求を行うと伴に、人材確保のため職員の働きやすい環境づくりに努める |

6 経営に関する指標 単位：%

| 法人の自立性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和13年度 | 計算式 |
|-----------|--------|-------|--------|--------|--------|-----------------------|
| 市からの収入割合 | 23.8 | 29.7 | 29.7 | 29.7 | 29.7 | 市からの委託料・補助金・指定管理料/総収入 |
| 市との随意契約比率 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 随意契約金額/委託料 |
| 外部委託率 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 外部委託額等/随意契約金額 |
| 組織運営の効率性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和13年度 | 計算式 |
| 販売・管理費比率 | 85.2 | 87.6 | 85.2 | 82.8 | 80.4 | 販売・管理費/総収入 |
| 財務の健全性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和5年度 | 令和8年度 | 令和13年度 | 計算式 |
| 経常比率 | 87.0 | 91.3 | 93.2 | 95.9 | 97.7 | 経常収益/経常費用 |
| 自己資本比率 | 81.6 | 82.9 | 84.5 | 87.0 | 88.7 | 資本/総資産 |
| 流動比率 | 307.9 | 374.6 | 382.1 | 393.3 | 400.8 | 流動資産/流動負債 |
| 固定比率 | 100.8 | 98.5 | 96.5 | 93.5 | 88.6 | 固定資産/資本 |
| 人件費率 | 76.1 | 77.8 | 76.2 | 73.9 | 70.0 | 人件費/経常費用 |
| 利益率 | ▲ 14.9 | ▲ 9.5 | ▲ 12.2 | ▲ 10.0 | ▲ 5.0 | 経常収支差益/経常収益 |
| 売上高当期純利益率 | ▲ 0.2 | 3.1 | 1.4 | ▲ 7.0 | ▲ 5.0 | 当期純利益/経常収益 |
| 借入金依存度 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 借入金+社債/総資産 |
| 余剰金(欠損金) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 資本-基本金・資本金 |
| 指定管理依存度 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 指定管理料/総収入 |

7 経営分析、評価及び将来展望について(2～6の分析)

| | 現在(分析・自己評価) | 将来展望・中長期的ビジョン |
|----------|--|--|
| 法人の自立性 | 令和元年度と比較し、第2層生活支援コーディネーター担当職員を増員し、地域住民による生活支援サービスの充実を図るため、生活圏域ごとの協議体(話し合いの場)の設置に向けた体制を構築し、地域の福祉力向上のための体制を強化した。また、介護保険事業等については、介護サービスの提供を担う登録ヘルパーの増員に向けて募集告知を継続的に行うとともに、収益を効果的にあげていくための業務の効率化を行うなど経営改善を行っている。 | 地域福祉を推進するための中核機関を担う団体として、さらには「地域共生社会」の実現に寄与するため、ソーシャルワークの知識と経験のある人材を確保に向けて、社会人経験者の採用を取り入れるとともに、経験の浅い職員は外部研修等に積極的に参加させ、専門性の高い福祉人材の確保・育成・定着を図っていく。また、介護保険事業等の収益をあげるため、他の社会福祉法人との連携強化を図るなど引き続き経営改善に向けた取り組みを行っていく。 |
| 組織運営の効率性 | コスト削減を意識しながら組織運営の効率性を高めていきたい。 | 短期的な経営戦略として、ホームページやフェイスブックを充実させ、広報戦略を実施する。中期的には、効率的な組織運営を図るため、役員及び評議員による委員会や各種事業へ積極的に参画してもらい、組織体制の強化を図る。また、社会福祉協議会は、高い公益性が求められる法人として、他の社会福祉法人や福祉施設との協働による公益的な取り組みを推進し、「地域共生社会」の実現に寄与していく。 |
| 財務の健全性 | 令和元年度は、保育所施設・設備整備積立金の未払い金が減少となった。また、東京電力の損害賠償金が年度内に支払われたことにより利益率は昨年度よりも上昇した。 | 安定的な事業を推進を図るため、法人会員等の積極的な加入依頼の促進を図る。 また、事業を推進するうえで新たにクラウドファンディングの導入や市社協発行の印刷物等への広告掲載を積極的に進め、より多くの方々の理解と支援を得られるように努めていく。 さらに、東京電力への損害賠償請求を引き続き行っていく。 |

8 その他取組状況及び特記事項【団体回答欄】

| |
|--|
| <p>新型コロナウイルスの感染拡大は今後も社会生活に様々な影響を及ぼすことが予想されることから、令和2年度に社会福祉協議会が新たに策定した『新型コロナウイルス感染症対策による「新しい生活様式」下の地域福祉活動再開に向けたガイドライン』を適宜、見直しや改訂を行いながら「with コロナ」に対応した新たな地域福祉活動のあり方を引き続き検討していく。</p> <p>コロナ禍で地域福祉活動が停滞しないよう「見守り・友愛訪問活動」などの地域住民による福祉活動に対する助成金の交付基準を改正するなど、地域福祉推進事業の財源配分の適正化、有効化を図りながら、新たな財源の確保を目指し、引き続きクラウドファンディングなどの有効活用の検討を継続していく。</p> |
|--|

9 市の評価【事業評価】(指定管理業務を除く)

| |
|--|
| <p>郡山市が委託した業務については、適切に実施された。</p> <p>生活困窮者自立支援事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅な収入の減少や離職等、生活に困窮する世帯が増加し、相談対応件数が大幅に増加する中、生活支援サービスをワン・ストップで速やかかつ効果的に提供することができた。(相談受付延べ件数2,035件、前年度比1,134件の増)</p> <p>また、生活支援コーディネーター事業については、第2層生活支援コーディネーターを6名増員したため、委託料が増加しているが、第2層生活支援コーディネーターは地域の担い手と利用者をつ結びつける活動や、目指す地域の姿・方針を共有するための活動等を展開しており、本市の地域包括ケアシステムの深化に大いに寄与している。</p> |
|--|

10 市の評価【財務・経営状況評価(団体の経営分析を踏まえたもの)】

| |
|---|
| <p>新型コロナウイルス感染拡大による収入の減、失業等の増加により緊急小口資金特例貸付業務や、福島県沖地震後のボランティアセンターの運営に多数の人員を配置せざるを得ない状況で、職員1人当たりの業務量が増加する中、効率的に事業展開を行ったことは評価できる。コロナ禍においては、感染者の増加による事業の中止や、寄付収入の減少等が予想されるが、今後も財務の健全化及び経営の効率化を図りながら、新しい地域福祉活動の実現に努めていくことを期待する。</p> |
|---|